

全日本私立幼稚園連合会加盟園の皆様へ

令和3年3月9日

全日本私立幼稚園連合会
会長代行 田中雅道

お詫び

すでに NHK から報道されましたように、本連合会で平成29年度から令和元年度にかけて約3億2000万円という巨額の横領（以下、「本件不祥事」と申します）が起きました。皆様方からの大切な資金を喪失しましたこと、深くお詫び申し上げます。

本件不祥事が発覚した経緯

令和2年9月25日、コロナ禍の影響で延び延びになっていました本連合会令和元年度監査会が開催されましたが、当該監査会において、監査対象である通帳および残高証明が提示されなかったため、監査は継続となりました。

令和2年11月27日、継続監査会が行われる予定でしたが、当日付で会計上不備の責任を取って香川敬前会長が辞任され、当日の理事会で私、田中雅道が会長代行に選任されるとともに、同日、特別委員会を設置して本件不祥事の調査を行うことが決定されました。

令和2年12月15日、特別委員会が開催され、第三者の弁護士・公認会計士に調査を依頼することが決議されました。そして、平成28年度決算では財産目録と預金残高が一致していることから、平成29年度、平成30年度、令和元年度の3年間の調査を依頼しました。

数か月にも及ぶ公認会計士による詳細な調査の結果、平成29年度、会計上の不正はなかったものの基金が理事会の承認なしで取り崩され、平成30年度には決算の不正および基金の取り崩し、令和元年度も決算の不正および基金の取り崩しが行われていることが判明しました。3年間の横領総額が上記金額です。

令和3年3月5日、特別委員会が開催され、公認会計士から報告を受けた上記横領金額と公認会計士に作成を依頼した令和元年度決算が了解されました。

その後、令和3年3月8日、本連合会監事による監査会が開催され、令和元年度決算が了承され、翌日、令和3年3月9日、常任理事会および理事会が開催され、令和元年度決算報告ならびに監査報告がなされた後、特別委員会からの経過報告が承認されました。横領された金額を回収する作業は、すでに弁護士の方が開始していただいております。本件を刑事告訴するかどうかの判断も含めて、回収についての最終判断は弁護士に一任しました。

もっとも NHK の報道にもあるように、香川敬前会長は、監査会において使途不明金の存在が発覚しないようにするために、本連合会の通帳類の偽造にまで関与し、偽造のための業者を紹介したことまで深く関与したことを認めている一方で、口座の管理は事務方が行っており自身は1円たりとも資金の流用はしていないなどと述べたり、個人的な資金の流用については断じてしていないなどと弁解しておりますが、当該弁解は極めて不合理であり、弁護士の見解においても、少なくとも刑法上の私文書偽造罪等に該当する違法行為であることは明らかであることから、本連合会としては、刑事告訴、民事訴訟をすることも当然視野に入れた断固とした対応をして参る所存です。以上が経過報告です。本件が報道で流される前にこのような書類を皆様方に送付し報告する予定でしたが、本連合会の組織特性上、本件のような非常にデリケートな情報については、特別委員会、監査会、常任理事会等の会議体での議決を経て、段階的に情報共有がなされていくことから、最終的に加盟園の皆様情報共有をさせていただくまでのタイムラグが大きく、結果として特別委員会直後に報道が

なされることとなってしまい、後手に回ってしまったこと深くお詫び申し上げます。

今後の方針

横領された資金の用途については、ほとんどが現金で引き出されており、総額について詳細に用途を特定することは困難を極めますが、弁護士の方が引き続き調査、解明に努めて頂いております。

また、上記は令和元年度までの調査に基づくご報告となりますが、いまだ調査未了であり正確な金額については差し控えますが、令和2年度においても、本連合会の口座から8000万円を超える用途不明の現金引き出しの事実が確認されています。繰り返しになりますが、本連合会の用途不明金問題を隠蔽する目的で、本連合会の各種通帳類が偽造されており、当該偽造について香川敬前会長が関与していることは、すでに報道された通りです。

そして、香川敬前会長は、令和2年11月27日付けにて辞任した際に、本連合会の会計についての管理不行届きによる巨額の用途不明金を出したことについて法的責任があることを認め、同月30日付けにて1億5000万円を本連合会に弁済しております。また、香川敬前会長は、辞任の際に、自らの任意の意思に基づくものであり、後日本連合会に何らの異議を唱えないことを踏まえたうえで、弁護士や公認会計士等外部専門家による調査の結果、本連合会において上記弁済金額を超える損害が確認された場合には、外部専門家の調査費用等も含めたあらゆる直接的・間接的損害について必ず弁済に応じる旨を明記した書面を提出しています。なお、当然ではありますが、令和2年11月27日付けにて、上記偽造通帳類及び本連合会の真正な通帳、印鑑類はすべて押収しており、新たな不正がなされることはないことをご報告申し上げます。

その他、本連合会とは他団体ではあるものの、公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構については令和2年度に不明な入出金、全日本私立幼稚園 PTA 連合会においては、令和2年度において資金流出があった事実が把握されておりますが、機構については、結果として資金の流出がなかったことが確認されておりますことをご報告申し上げます。

これらの点については、令和2年度決算のご報告までの間に改めて調査のうえ、然るべき場において正確な情報を発信させていただく所存です。

いずれにいたしましても、本連合会と致しましては、会務運営を通常に戻し、節約に努め、一刻も早くまずは災害対策基金6000万円から基金を積むことができるよう最大限の努力をしていくことをお約束申し上げます。

このような事件が二度と起こらないよう、今後、外部の弁護士、公認会計士の意見等も反映させながら、より一層の適切なガバナンス体制を整備することをお約束するとともに、全国の子どもたち、私立幼稚園のための組織として、皆様に信頼いただける組織に再生できるよう最大限努めてまいります。なお、本件不祥事による本連合会の今後の運営には影響はございませんので、何卒よろしくご報告申し上げます。